



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 新日本理化株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4406 URL <http://www.ni-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 芳樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部長 (氏名) 盛田 賀容子 TEL 06-6202-6598
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,783	△12.9	62	△68.7	175	△46.8	137	△50.7
2020年3月期第1四半期	6,641	△9.2	198	△20.3	330	4.0	279	5.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 311百万円 (14.8%) 2020年3月期第1四半期 271百万円 (△29.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	3.69	—
2020年3月期第1四半期	7.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	33,663	14,775	41.0	370.43
2020年3月期	32,756	14,595	41.6	365.29

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 13,811百万円 2020年3月期 13,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	37,286,906株	2020年3月期	37,286,906株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,264株	2020年3月期	1,214株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	37,285,654株	2020年3月期1Q	37,286,248株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、経済・社会活動が制限され、景気は急激に悪化しました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、在宅勤務や時差出勤などを積極的に活用して新型コロナウイルスの感染予防を行うとともに生産性の維持・向上や高付加価値の新製品開発に取り組みました。

主要製品の概況は次のとおりであります。

オレオケミカル製品は、油脂製品で自動車、タイヤ、住宅関連が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上高は大きく減少いたしました。また、アルコール製品も全般的に低調な推移となりました。手指関連洗浄剤向け界面活性剤が堅調に推移したものの、他製品の落ち込みを補うまでには至りませんでした。

可塑剤は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きい住宅資材関連向けの落ち込みが激しく、壁紙・床材・電線などに多く使用される汎用可塑剤（DOP、DINP）の販売が大きく減少いたしました。また、前期好調だった封止剤用途のDUPは新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりマレーシアで現地港が封鎖となり主要取引先への出荷が2カ月間停止となったため、売上高は大幅に減少しました。

機能化学品は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた自動車産業の低迷により5月以降主力の自動車向け油剤等の売上高が大幅に減少しました。

樹脂原料製品は、主力の自動車塗料向け製品は自動車産業の低迷により大幅に減少しましたが、食添向け製品や不飽和ポリエステル用途の製品は堅調に推移しました。

樹脂添加剤は、4月以降、国内顧客において新型コロナウイルス感染症拡大により需要減が続きました。海外においては、北米向けは日本同様に厳しい状況が続いております。一方で欧州向けについては、5月に一旦落ち込みましたが、6月に入り需要の回復傾向が見られました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、57億8千3百万円（前年同四半期比12.9%減）となり、損益面では、営業利益6千2百万円（前年同四半期比68.7%減）となりましたが、関連会社の業績が比較的好調であったことなどにより、経常利益1億7千5百万円（前年同四半期比46.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億3千7百万円（前年同四半期比50.7%減）を計上する結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は336億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7百万円増加しました。

流動資産は170億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億7千8百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が10億8千2百万円減少したものの、現金及び預金が13億7百万円、棚卸資産が3億1千9百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。固定資産は166億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千8百万円増加しました。これは主に有形固定資産が4千7百万円、投資有価証券が1億8千8百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

流動負債は102億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4千9百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が6億4千3百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は86億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億7千7百万円増加しました。これは主に長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は147億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7千9百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が2億3千9百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は41.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難なため、引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

また、上記の通り2021年3月期の業績予想を未定とすることから、配当予想につきましても未定とし、2021年3月期の業績予想の算定が出来次第、改めて開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,070	4,377
受取手形及び売掛金	8,724	7,641
商品及び製品	2,109	2,301
仕掛品	1,246	1,124
原材料及び貯蔵品	999	1,249
その他	179	314
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,328	17,007
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,281	4,281
その他(純額)	4,692	4,739
有形固定資産合計	8,974	9,021
無形固定資産	56	54
投資その他の資産		
投資有価証券	6,879	7,068
その他	517	513
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,396	7,580
固定資産合計	16,427	16,655
資産合計	32,756	33,663

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,474	3,830
短期借入金	2,386	2,388
1年内返済予定の長期借入金	2,066	2,346
未払法人税等	103	41
賞与引当金	244	82
その他	1,792	1,530
流動負債合計	11,068	10,219
固定負債		
長期借入金	3,808	5,304
役員退職慰労引当金	75	71
退職給付に係る負債	1,820	1,823
その他	1,387	1,468
固定負債合計	7,091	8,668
負債合計	18,160	18,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,075	4,075
利益剰余金	3,337	3,363
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,074	13,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,167	1,406
為替換算調整勘定	△574	△649
退職給付に係る調整累計額	△46	△44
その他の包括利益累計額合計	546	711
非支配株主持分	975	963
純資産合計	14,595	14,775
負債純資産合計	32,756	33,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,641	5,783
売上原価	5,361	4,661
売上総利益	1,279	1,121
販売費及び一般管理費	1,080	1,059
営業利益	198	62
営業外収益		
受取配当金	77	74
持分法による投資利益	46	46
その他	24	5
営業外収益合計	149	126
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	4	1
その他	2	1
営業外費用合計	17	13
経常利益	330	175
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	328	174
法人税、住民税及び事業税	33	30
法人税等調整額	0	△0
法人税等合計	34	29
四半期純利益	294	145
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	279	137

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	294	145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	239
為替換算調整勘定	△4	0
退職給付に係る調整額	1	1
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△76
その他の包括利益合計	△23	165
四半期包括利益	271	311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256	303
非支配株主に係る四半期包括利益	14	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。